

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（集計結果）

公表：令和 4年 5月 20日

サンクスラボ・アフタースクール大村

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			十分確保できているが、実際の利用人数や活動内容によっては訓練室等のスペースが狭く感じることもあるので、スペースを有効活用できるよう配慮する。
	2	職員の配置数は適切である	4			配置基準より多い人数の職員を配置しているが、見守りや支援の必要性の高い児童が多く利用する日や、送迎の時間が重なる場合など、不足感がある日も出てくるため、人材確保を含めて継続的に実施していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		1	3	・段差等があり、バリアフリー化は不十分である ・バリアフリー化はできていない
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4			・週報などを取り入れ、振り返り反省を行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	2		継続的に実施を図る。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2		・事業所に掲示している ・事業所には公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			4	第三者による外部評価については現状行っていないため、今後の検討課題とする。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			・定期的に職員研修を行っている ・定期的に研修をしている
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			・保護者、職員間でも話し合いを実施して計画書を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	3		今後検討する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2		・季節ごとの行事など職員間で話し合い計画をしている

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で話し合いながらなるべく重複しないようにしている</li> <li>・色々な活動ができるように普段から職員が計画している</li> </ul>
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・きめ細やかには設定できていない</li> </ul>
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の様子を見ながら計画を立てている</li> </ul>
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全員で情報を共有して確認を行っている</li> <li>・しているところとしていないところがある</li> </ul>
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰りの送迎が遅くなった時は、振り返りを全員でできないことがあるためその時は次の日の朝行っている</li> <li>・重要な部分は特に共有できている</li> <li>・就業までの時間で1日の支援や出来事について話しあっている</li> </ul>
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳の記入を徹底し日々の支援を記録している</li> </ul>
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			今後も継続して実施する。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	2		今後も継続して実施する。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管と1人児童指導員または保育士が参加している</li> </ul>
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	1	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼできているが、送迎時間のミスなどがあるときがある</li> </ul>	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアが必要な児童がいない</li> <li>・できていないところもある</li> </ul>
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できていないところもある</li> </ul>
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移行する児童がまだいない</li> <li>・卒業生が今のところ利用していない</li> <li>・高学年の利用児がいない</li> </ul>
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で外部の研修に参加できていない</li> </ul>
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で交流できていない</li> <li>・コロナ禍ということもあり実施できていない</li> </ul>
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3		1	今後も協議会への参加を推進していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に保護者に1日の様子を伝えている</li> </ul>
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3		保護者のニーズも汲み取ったうえで、今後の検討とする。
保	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時やモニタリング時に説明をしている</li> </ul>
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	2		今後も継続して実施する。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染拡大防止のため行っていない</li> </ul>

護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	2		今後も継続して実施する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2		今後も継続して実施する。
	35	個人情報に十分注意している	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッカーで管理し使用時以外は施錠をしている</li> <li>・写真掲載承諾を得ている</li> </ul>
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2	2		今後も継続して実施する。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	2	社会的情勢を判断しながら、実施を検討する。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2		・保護者には周知できていないところがある
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			・訓練は年2回行う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			今後も継続して実施する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	2	1	・拘束を必要とする児童がいない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー対応の手順を掲示している</li> <li>・アレルギー対応のフローを作成し、未然に防ぐ対応と発症時の対応ができるようにしている</li> </ul>
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業集は作成していないが、ヒヤリハット報告書はその都度作成している</li> <li>・報告書は共有しているが事例集がない</li> </ul>